

HNS 等防除訓練を実施

(一財)海上災害防止センター(以下「センター」という。)では、原油・重油といった特定油、ガソリン・灯油といった特定油以外の油、ベンゼン・キシレンなどの有害液体物質(HNS ※Hazardous Noxious Substances)の流出や火災事故が発生した際、防災措置活動を迅速かつ確に実施し得る人材を育成すべく、本年も日本財団様より助成をいただき、契約防災措置実施者に対し HNS 等防除訓練を平成28年5月16日から20日までの5日間にわたり、当センター横須賀研修所にて実施いたしました。

平成12年度から始まった本訓練の受講生の合計は503名になります。



(受講生30名)



(座学講習)

本訓練は、HNS 等の流出・火災現場において、高度な防災活動を行う人材育成を目的としています。よって、横須賀研修所での座学だけでなく、洋上での油回収システムの操作及びオイルフェンス展張訓練の他、事故現場においてのサンプリングのための採水装置・採泥装置の取扱い訓練等を実施しております。また、東京湾に所在する第二海堡の消防訓練施設にて、可燃性・有毒ガス検知器の取扱い訓練、化学防護服や自蔵式空気呼吸具を装着しての HNS 等防除模擬訓練など、実践に即した訓練を行っています。



(油回収システムの操作)



(採水器取扱い訓練)



(自蔵式空気呼吸具取扱い訓練)



(化学防護服装着訓練)



(HNS等防除模擬訓練Ⅰ)



(HNS等防除模擬訓練Ⅱ)



(HNS等防除模擬訓練Ⅲ)



(HNS等の把握実験)

訓練に参加した受講生からは、「社内でもディスカッションを行い全員で防除戦略、戦術の立案を行って結束を深めていきたい。」「防除資機材の使用方や注意点をしっかりと学ぶことが出来た、今後、学んだ事を生かせるようにしていきたい。」等の感想をいただきました。

当センターでは、今後も HNS 等防除訓練内容の充実を図り、海上防災体制の充実強化に寄与したいと考えております。